

## 双体道祖神（ドウロクジンサマ）

上押切の道端に仲良く肩を寄せ合い、手を握り合った石仏があります。二神であるため、双体道祖神（熊谷市指定有形文化財）と呼ばれます。

地元のひとはドウロクジンサマと呼び、足の病に大変霊験あらたかで、足の病気になると大きなワラジを作って奉納祈願したとの事です。

昔は、小正月にこの地区の子供たちが集まり、ドンドン焼きという火祭り行事を行っていました。

